

令和元年度

授業改善推進プラン

全体計画及び各教科

府中市立府中第八中学校

教育基本法
学校教育法

学習指導要領

東京都教育委員会教育目標
府中市教育委員会教育目標
第2次府中市
学校教育プラン

本校の教育目標

変化する社会の中で主体的に判断し、他者とかかわりながら自己実現できる「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。
『すすんで学び、丈夫なからだで、みんな仲よく』
～学力づくり・体力づくり・心づくり～

保護者や地域の願い

①基礎学力の定着
②広く社会に貢献できる人間の育成

目指す生徒像

①自他を大切にし、心豊かでたくましく生き抜く生徒
②自主自律の精神を強くもつ生徒
③礼儀（あいさつとことば）正しく思いやりのある生徒

目指す学校像

①生徒も教職員も「生命の尊さ」を深く理解し、安全で安心して生活できる学校
②生徒も教職員も「学ぶ喜び」を享受できる学校
③生徒も教職員も将来の夢や目標の実現に向けて生き生きと活動できる学校
④伝統と創造を重んじ、生徒・保護者・地域・教職員が共に支え合う学校

目指す教師像

①人権尊重を第一に生徒一人一人の良さを発見する眼、受けとめる心、語り合える言葉を大切にせる教師
②専門性、指導力を磨き合い、組織としての対応力を高め合う教師集団

各教科の指導の重点

<国語>
言語能力の伸長を目指し、生徒の主体的活動を重視した多様な授業形態を工夫する。

<社会>
基礎基本の定着と活用を通して、事象に対する思考力と表現力を養う授業形態を工夫する。

<数学>
基礎・基本の定着や思考力を高めるため、習熟度別少人数やTTを活かした個別指導の充実を図る。

<理科>
探求の過程を重視した授業展開をベースに、思考力の向上及び知識の定着を図る。

<音楽>
表現力を高める授業を工夫する。楽典的な知識の習得と演奏に活かす応用力を育成する。

<美術>
授業のねらいを明確にし、達成するための手立てを、いくつかの選択肢として提示していく。

<保健体育>
運動量を確保し、基礎体力を養う。体力テストの結果分析から重点項目を工夫し、指導する。

<技術・家庭>
生活を豊かにする技能の向上を図るために効率的な授業をすすめる。

<英語>
基礎・基本の定着を図り、4技能のバランスよい向上を図る授業を工夫する。

学校経営方針における学力向上のための重点目標

①毎時間の授業を大切にし、基礎的・基本的な学習内容の確かな定着を図る。
②生徒一人一人の能力・特性を把握し、個に応じた指導の工夫に努める。
③各教科が互いに関連性をもつことにより、言語活動の充実を図る。
④学校評価システムを構築し、授業改善に活用する。
⑤教師の指導力・授業力の向上のため、研修を計画的・組織的に行う。

本校における「確かな学力」

学ぶ意欲の育成と学び方の習得を通して、思考力・判断力・表現力の伸長を図る。

本校の授業改善に向けた視点

授業改善に努めるとともに専門性と指導力の向上を図り、質の高い授業を実践する。

<指導内容・指導方法の工夫>

- 生徒・保護者へのアンケートや各種学力調査の結果を分析し、授業改善に活用する。
- 指導計画や毎時間の授業のねらいを明確に示すことで、学習に対する意欲を高め主体的に学ぶ態度を養う。
- 基礎学力テストの実施結果をもとに、学ぶ意欲の向上と計画的な自主学習の習慣化を図る。
- 全校指導体制により、授業規律を確立する。

<教育課程編成上の工夫>

- 個に応じた授業を充実させ、生徒の理解度の向上を図る。

<校内研修・研究の工夫>

- 学習指導法委員会を中心に研究授業を通じた指導法の改善・工夫を計画的に進め、生徒に学ぶ意欲や姿勢を身に付けさせる。
- 研修では「小中連携」「個に応じた指導」「授業力の向上」を柱に全校体制で取り組み、実践力・指導力を高める。

<評価活動の工夫>

- 新学習指導要領への移行に向けて、年間指導計画と評価規準の検討を進める。

<家庭や地域社会との連携>

- 学習の実態に関する情報を発信し、授業改善や計画的な自主学習の指導への理解を深め、学習支援の連携を図る。

各領域・特別活動の指導の重点

<道徳科>

- ①豊かな心を育て、たくましく生き抜く生徒を育成する。
- ②自他の生命を尊重する生徒を育成する。

<総合的な学習の時間>

- ①自ら学び、自ら考える力など「生きる力」を育むための探求的な学習を充実する。
- ②課題解決学習を重視した体験活動と言語活動を充実する。

<特別活動>

主体的思考力、行動力を育成する。

生活指導

- ①規範意識を育成し、基本的な生活習慣を確立させる。
- ②個性の伸長を図り、社会性や行動力を高める意識を育てる。

進路指導

- ①「働くこと」への関心・意欲を高揚させ、学習意欲の向上を図る。
- ②自立意識と豊かな人間性の育成のための系統的・組織的な支援を行う。

＜ 1 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に授業に取り組んでいる。 ・活発に発言する。 ・音声表現が得意である。 ・自らよく考える。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙が少ない。 ・文章を正確に読み取ることが苦手である。 ・構成を意識して文章を書くには至らない。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙を豊富にし、正確に文章を読み取ることができるようにする。 ・構成を意識した、相手に伝わりやすい表現ができるようにする。 <p>① 読むこと ② 書くこと ③ 言語に関する知識・理解・技能</p>	<p>① 場面ごと及び全体を把握しやすいワークシートの作成をし、構成を意識する機会を増やす。</p> <p>② 目的や相手について考え、構成を意識して文章を書くよう、注意を促す。</p> <p>③ 漢字の練習や語句の意味調べをする中で、語彙を習得させる。</p>

＜ 2 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に授業に取り組んでいる。 ・自分の考えを表現している。 ・「話すこと」の経験が豊富である。 ・自らよく調べる。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙が少なく、漢字を日常生活で使用できない。 ・文章を正確に読み取れない。 ・表現のしかたを工夫して文章を書くことができない。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語彙を豊富にし、文章表現を工夫できるようにする。そして、理解したことを自分の言葉で表現できるようにする。 <p>①関心・意欲・態度 ②読むこと ③書くこと ④言語に関する知識・理解・技能</p>	<p>①学習カードを配布し、単元の取組の過程を可視化する。</p> <p>②言葉や表現に着目させ、どう読み取ったのかを自分の言葉で表現させる。</p> <p>③伝える目的、伝える相手を明確にし、構成を考えさせる。また、言葉、表現を適切に選択させる。</p> <p>④漢字練習、語句の意味調べを行う。</p>

＜ 3 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業、発言、課題に対して意欲的。 ・話し合い、発表に前向きな人が授業を支えている。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字、語彙等の基礎力の不足があると、書くこと話すことなどの活動に影響する。 ・長い話を集中して聞くこと。 ・書き言葉で表現すること。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に考え、明確に表現できる力、他者と意見を交流し、考えを深められる力を身に付けさせたい。 <p>①「書く力」 テーマに沿って根拠（体験）と意見が合致した作文を書けるようにする。</p> <p>②「話す力・聞く力」 根拠をあげて自分の考えを明確に述べる力、他者の意見に学び考えを深める力</p>	<p>①課題に目標設定をさせ、単元取り組みの過程・結果を可視化する。発表、話し合いを生かして相互に学ぶ機会を作る。</p> <p>②単元ごとに課題作文を書くことで自分の考えを深め、他者の考えに学ぶ。</p>

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中して取り組むことができる。 ・意欲的に発言できる <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを表現する力が十分に伸びていない。 ・資料の読み取りや表現の力が十分に伸びていない。 ・既習内容の応用力が十分に伸びていない。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>【社会的な知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識の定着。 <p>【社会的な思考・判断・表現、資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の知識・考え方を活用して、新たな学習課題に取り組める力。 ・地図・統計・写真などの資料を用いて、情報を読み取り、自分の言葉で説明できる力。 	<p>【社会的な知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント課題を活用して、用語や知識を定着させる。 <p>【社会的な思考・判断・表現、資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜、既習の学習内容を振り返り、学習中の内容との関連性に気付かせる。 ・様々な資料を読み取る。 ・プリント課題やワークを活用して、自分の考えをまとめる。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に対する学習意欲が高く、課題に対して主体的に取り組むことができる。 ・自分の考えがしっかり書ける。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会的な思考・判断・表現」の部分では、複数の資料や知識を活用して考え、説明することが苦手な生徒が多い。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>【社会的な知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識を習得する。 <p>【資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図、統計資料、写真などから情報を読み取る力を身に付ける。 <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識や技能や経験を活用して、自分の言葉で概念を形成する力と応用力を身に付ける。 	<p>【社会的な知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識・理解の確実に定着させるために繰り返し学習を徹底する。 <p>【資料活用の技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で様々な資料を読み取る場面を多く設ける。 <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して自分で考察し、論理的に説明するような課題解決の過程を重視した授業展開を行う。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃からニュース等をよく見る生徒が多く、社会に対する関心は高いと言える。また、資料を活用し事象を多面的・多角的に考察し公正に判断する力は高い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象に対し、自ら課題を見出しその解決の方法を多面的・多角的に考察し、適切に表現する力を伸ばす必要がある。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象に対し、自ら課題を見出し、その解決の方法を多面的・多角的に考察し、適切に表現する力。 <p>【社会的な知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象の意義や特色、相互の関連性まで結びつけられるような理解力の構築。 	<p>【社会的な思考・判断・表現】</p> <p>【社会的な知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習得した基礎的・基本的な知識を基に、学級や少人数グループでの話し合い、発表をし合うなどの言語活動の充実を図る。また、課題の発見、解決に向けた主体的・協働的な学びを取り入れ、社会的な見方や考え方を養っていく。

＜ 1 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算力は概ね身につけている。 授業に対しての姿勢は真面目に取り組んでいる。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎クラスに家庭学習の習慣が身につけていない生徒が多い。 文章の読み取り力に課題があるため、数学的な見方・考え方の観点の達成率が低い。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学的な技能 数学的な見方・考え方 	<ul style="list-style-type: none"> プリントや問題集を活用し、反復練習を行わせる。 単元ごとにまとめプリントを用いて、定着できていない箇所を確認し復習させる。 文章を式で表したり、式の意味を説明したりする機会を授業の中で増やす。

＜ 2 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な計算力は概ね身につけている生徒が多い。 授業に対する姿勢は真面目である生徒が多い。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の習慣が身につけていない。 数学的な見方・考え方の観点の達成率が低く、問題文を読み取る力に課題がある。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学的な技能 数学的な見方・考え方 	<ul style="list-style-type: none"> プリントや問題集を活用し、反復練習を行わせる。 問題集の提出範囲を狭くし、取り組みやすいようにする。 1つの問題をじっくりと考える時間を設定し、話し合い活動なども取り入れながら問題の意図を読み取れるように工夫する。

＜ 3 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業に真面目に取り組む、課題に対し意欲的で、分かるまで学習する習慣が身に付いている。 家庭学習の習慣が身に付いている生徒が増えた。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗法公式が定着できない生徒がいる。 途中の計算過程を書けない生徒は、計算ミスが多い。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 数学的な技能 数学的な見方や考え方 	<ul style="list-style-type: none"> プリントやワークを活用し、計算や文章題の練習を繰り返す。 単元テストを実施し、生徒に理解度を把握させ、学習のめあてを明確にさせる。 定期考査前、夏季休業日中に学習会を実施する。 論理的な思考力や表現力を必要とする問題は、既習事項を再確認させる等問題を解くヒントを与え、思考の道筋を段階的に示す。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が授業に対して真面目に取り組み、また、発言もする。 観察・実験の技能が向上してきた。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 科学的な思考・表現を苦手とする生徒が多い。(観察・実験データを論理的に考察できない。) 自然現象への知識・理解が不足している。(基礎・基本の定着不足。) 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「科学的な思考・表現」 観察・実験データの読み取り方を理解する。 論理的な考察方法を知る。 自らの論理を、自らの言葉で表現する。 ◇「自然現象への知識・理解」 問題演習を通して基礎・基本の定着を図り家庭学習の充実も図る。 授業プリントを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇授業プリントの工夫（下記内容） 仮説を立て、見通しをもった観察・実験を行う内容。 基礎的な思考から論理的な思考へ移行できる内容。 思考の過程を自らの言葉で文章として表現する内容。 復習的な内容と、本時の学習が理解できる学習ポイントの内容。 ◇家庭学習の充実 家庭学習の重要性を理解させる。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 学習への姿勢が前向き。必要に応じてメモをとるなど、教員の発言に対しても意識をはたかせることができる生徒がいる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 応用問題に対して苦手意識がある生徒が多い。 実験結果を理解していても実験操作を理解できていない生徒がいる。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「科学的な思考・表現」 観察・実験データの読み取り方を理解する。 論理的な考察方法を知る。 自らの論理を、自らの言葉で表現する。 ◇「自然現象への知識・理解」 実験を通して実験手順・操作の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 実験手順について丁寧に確認し、意図を理解させる。 実験操作の定着は実験時のみではなく、問題演習を通して定着を図る。 生徒は暗記の思考に走ってしまいがちであるので、理解させることを意識づけ、理論的な解釈をうながすよう声掛けをする。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 実験や学習に対する意欲が高く、新たな提示をしても素直に吸収することができる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的に思考問題が苦手な生徒が多い。 個人の文章読解力や数学的解決能力、考察力の差が大きい。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「科学的な思考力・表現」 実験データを分析して、自分の言葉で原理・法則を導き出す能力と応用力を養う。 ◇「実験・観察の技能」 安全を重視しつつ、より早くて正確な実験操作の習熟とデータの記録・処理方法を身に付けさせるとともに、主体的に工夫しながら実験を推進できる能力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 探求の過程を重視した授業展開の推進をベースに、実験・観察を通して実験結果から必ず自分なりに考察・筋道をたてて説明する場を数多く設定するとともに、発展的な学習内容を提示し、応用力を高める工夫をする。 できるだけ実験回数を増やし、実験操作の習熟の向上、実験解説の徹底とデータ整理時の個に応じた指導にも力を入れる。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に真面目に取り組み楽しんで歌唱活動ができる。積極的に発言できる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい発声が身についていない。声を出すことに抵抗がある生徒がいる。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい発声を身に付けさせ、男子は変声期を上手に乗り越えさせて歌うことへの抵抗をなくしたい。 ・表現をどのように工夫するかを言語化して伝え合えるような力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発声のメカニズムを理解させ、正しい発声を身に付けることに意欲を持たせる。 ・パート練習で表現の工夫について話し合いをさせて意見を出し合えるようにする。 ・鑑賞を通して歌唱の素晴らしさを味わわせる。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・素直に学び、楽しんで歌唱活動に励むことができる。前向き。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学び（知識）を生かしてきれていない。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現や鑑賞の解釈について言語能力を高めていきたい。主体的に学習を進められる力をつけさせ、話し合いを深めて創意工夫する力をつけさせたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートでの話し合いや発表を通して楽譜への書き込みを定着させる。 ・多くの曲に触れさせ、表現したいことが自分で理解できるようにしていく。合唱コンクールではクラスで一つのものを作り上げるよるこびを感じさせ、達成感を味わえるようにする。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱活動に楽しみながら熱心に取り組める。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業に集中できない生徒が少しいる。 ・筆記テストに対して努力ができない。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後の合唱コンクールで自分たちの力で曲を創り上げる喜びを感じ、合唱の良さを感じさせる。 ・音楽を聴くことや演奏することが生活の中の楽しみになることを分らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パート練習を通して表現の工夫をどのようにするのか意見を出し合い、全体で発表させる。 ・良い音楽に触れる機会を作り、音楽の良さに気付かせる。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> よく集中して取り組み、より良い作品を作ろうと前向きに励む生徒が多い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 描く対象への観察力が不足している。 作品に自分のアイデアがなかなか出せない。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 表現する対象の観察をもとに特徴や原理を発見する力を高める。 表現する対象の特徴や発見した原理をもとに、表現するための具体的な方法を見つけ出す力を高める。 具体的な表現方法に適した用具および使い方を見つけ出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体例を示したり、観察するポイントを指摘して、表現する対象の特徴や原理についての気づきを促す。 何を用い、どのようにやれば、対象の特徴や発見した原理を表現できるかを考えさせ、用具や方法を具現化させる。 作品の制作を通して、その表現効果を確認させる。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 真面目に説明を聞き、のびのびと制作している。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 一部の生徒は発想構想を行う際に、難しく思考し過ぎて手が止まりがちになる。 <p>→「上手」や「センス」という言葉に捉われていることが手の止まる原因になっていると感じる。</p>	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 制作時間に見通しをもち、計画的に作業を終わらせる力を付ける。 ウェビングマップ等を用いて、考えを深めさせ、発想構想でつまづかないように発想力、想像力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎授業、残りの制作時数を伝え、本時の制作ノルマを提示する。 具体例を多く示し、様々な表現方法があることを提示する。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 作品制作に、地道に取り組む生徒が多い。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 制作進度の個人差が大きい。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 原画をよく観察し、下描きで忠実に写し取る力を高める。 下描きを元に、絵具で忠実に色彩やタッチを再現する力を高める。 原画の持っている魅力を十分感じ取れる力を高める。 作者の意図や心情を感じ取る力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助線を活用して見比べ、形や配置の精度を上げる。 絵を逆さにするなど、普段と違う角度で見比べる。 混色カードを用いて、色の再現の参考にする。 絵の良さを捉え、言葉や文で言語化する。

＜ 1 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことに前向きで、何事にも前向きに取り組める。(男子) ・記録への向上心が高い。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられたことは懸命に取り組めるが、自ら課題を見つけることができない。 ・持久力。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関心・意欲・態度・・・運動・スポーツに積極的に楽しみながら取り組む態度。 ・課題解決力の向上・・・思考、判断。 ・全身持久力の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア学習やグループ学習を取り入れ、生徒同士のよさを引き出し、課題を発見させることで自らの課題意識をもたせる。 ・学習カードの改善・活用。 ・各運動種目に関連した補助運動の工夫。

＜ 2 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動に意欲的な生徒が多く、何事にも前向きに取り組める。 ・記録への向上心が高い。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動が得意な生徒と苦手な生徒との差が大きい。 ・巧みな動き、投げる力、持久力。 ・特定の生徒の忘れ物が目立つ。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動に親しむ。 ・考えたことを運動につなげていく。 ・基礎運動能力の向上。 ・自ら考えて取り組める主体性。 	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物チェックと同時に決まりを守って授業を受けるよう日々の授業で指導していく。 ・学習カードの改善・活用。 ・各運動種目に関連した基礎運動の工夫。

＜ 3 年 ＞

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p>＜強み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎体力が男女とも高い。 ・基本的に運動好きである。 <p>＜弱み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試行錯誤しながら運動ができない生徒が多い。 ・継続した努力ができない生徒が多い。 	<p>＜どういう力を身に付けさせたいか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に考えながら運動する習慣の育成。 ・真面目に継続した努力ができる習慣の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考える場面の設定。 ・授業形態は種目により、個人活動、グループ活動を導入する。 ・考える時間の確保(個人・グループ) ・授業ノートでの振り返り。

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<強み> ・学習に対する意欲関心が高い。 ・集中して作業に取り組むことができる。	<どういう力を身に付けさせたいか> ・計画的に、順序立てて作業に取り組める力。 ・基本的な技能の定着。 ・プログラミング演習。	・安全な作業を心がけて、生徒自身が課題を理解できるように提示し、見通しを立てさせる。また、生徒が自分で計画的に取り組めるよう工夫する。 ・基礎基本の内容は、実習時には毎時間確認するなど、短時間でも繰り返し確認する時間を設定する。小テスト等も活用していく。
<弱み> ・基本的な技能の定着ができていない生徒がいる。 ・作業を見通し、順序立てて取り組むことを苦手とする生徒がいる。		

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<強み> ・どの分野に対しても意欲的、積極的に取り組んでいる。 ・自分の意見を表現することができる。	<どういう力を身に付けさせたいか> ・課題を解決する方法を自ら考え、乗り越える力。 ・基礎を生かした応用的技術力。	・生徒がつまずきやすい点を予想し、その際の対処例をいくつか提示する。 ・スモールステップで、徐々に応用技術が身に付くような課題を設定する。 ・振り返りカードの活用。
<弱み> ・失敗を恐れて挑戦しない生徒がみられる。 ・つまずきを自ら解決する力が弱い。		

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<強み> ・落ち着いて作業に取り組むことができる。 ・基礎的な技能が定着している生徒が多い。	<どういう力を身に付けさせたいか> ・資料を活用し、考えを深め、表現する力。 ・工夫し、自分なりの個性を表現する力。 ・粘り強く課題に取り組む力。	・分かりやすい板書や資料準備を心がけ、常に全員が理解できるような授業を目指す。 ・個々の工夫により様々な表現ができる教材を用いる。 ・思考の材料となる資料を多く用意する。
<弱み> ・実習でも座学でも、個別の対応が必要な生徒が複数いる。 ・自ら考え工夫することが苦手である。		

< 1 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 活動の際、英語を用いて他者と積極的にやりとりを行おうとする姿勢が見られる。 ゆっくりしたスピードで話される英語を聞き、内容を理解できる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 正しい綴りで英単語を書くことを苦手とする生徒が多い。 文字と音を結び付けるのが苦手。 ネイティブスピーカーの速度だと聞き取れない or 内容理解が薄い。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 正確な綴りで英語を書く力。 状況に応じた英語を用いて、コミュニケーションを楽しむ力。 簡単な英文を読んだり聞いたりして、内容を理解する力。 	<ul style="list-style-type: none"> 単語テスト(授業毎)やBS25(文表現テスト・定期的)を実施。 ロールプレイング形式でのやりとりや、いくつかある表現から自分で選択するコミュニケーション活動を増やす。 教科書の内容に付随した簡単なQ&Aや、ALTによる短いスピーチのリスニングなどを取り入れる。読み物の副教材などを導入する。

< 2 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> 単語を読むことができる生徒が多い。 学習した表現を用いて、英文で表現しようとする姿勢が見られる。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 正しいスペルで単語を書くこと。 初めて読む英文を読み問いに答えること。 自分の気持ちを表現する力。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 英語を使い自分のことが表現できるような力を身につけさせていきたい。そのために、英文の基本的な構造を理解し使いこなせるように基礎を固めていく。 自分で英文を作り、自分のことを表現する機会を増やしていく。 本などを活用し、いろいろな英文に触れさせるようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 道の尋ね方やレストランでの表現など身近なことを発表する活動を通じて英語を話す力を養う。 基本例文を覚えさせ、英文の基本構造を理解させる。 英作文などスキット作りで英文を作ることに慣れていく。 図書室に英語の本を置き、英文に触れる機会を増やしていく。

< 3 年 >

現状と課題	指導上強化する観点項目	具体的な改善策
<p><強み></p> <ul style="list-style-type: none"> リスニング力が高い(授業内の英語での指示がおおむね理解できている。) 英語と日本語の文の作り方の違いを理解している。 <p><弱み></p> <ul style="list-style-type: none"> 長文を読んで理解する力が不足している。 自分の言いたいことを英語で表現する力が不足している。 	<p><どういう力を身に付けさせたいか></p> <ul style="list-style-type: none"> 理解の能力・・・まとまった長さの長文を読んで大意を理解できる力。 表現の能力・・・自分の意見や考えを英語で表現できる力。 	<p><理解の能力></p> <ul style="list-style-type: none"> 読みトレ100を用いて、速く正確に内容を把握する力を養う。教科書や独自教材を用いて読む活動を増やす。また読み取れたかどうか確認する活動を増やす。 <p><表現の能力></p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なテーマを提示し、それについて既習事項を用いて英語で書く活動を増やす。